

自衛隊パレード 2万人見物 福井



パレードで行進する装甲車に手を振る沿道の人たち＝福井市大手3のフェニックス通りで

陸海空自衛隊福井市中パレードが10日、同市のフェニックス通りであつた。裁判所前交差点から大名町交

差点までの約500㍍を徒步部隊や装甲車両などが行進し、沿道には約2万人（主催者発表）が集まつた。

自衛隊への県民の理解を促進し、信頼感と親近感を醸成する目的に2

013（平成25）年に始まり、今年で10回目。県防衛協会、県経団連、福井商工会議所などでつくる実行委員会が主催した。鯖江市の陸自鯖江駐屯地や石川、滋賀、岐阜など7府県から10部隊が参加し、約170人が行進した。装甲車など計25台の車両が走行し、戦闘機やヘリも上空を飛んだ。通りには幼児を連れた親子連れが多くつた。園児の恩子を連れた福井市の男性は「子どもが大きい車が好きなので見に来た。間近で見られて、迫力があつた」と話した。「災害救援ありがとうございます。あなたたちを戦場に送らない」と書いた横断幕を持つ人たちもいた。

（藤井生）